

・(5-1) スポーツ振興課所管事業

1. スポーツ推進審議会及びスポーツ推進委員に関する事務事業
2. 保健体育施設管理事業
3. ニュースポーツ普及事業
4. 広報活動
5. 体育施設開放事業
6. 指導者研修会・養成講習会
7. スポーツ団体育成事業
8. 生涯スポーツ活動推進事業
9. 石川県民体育大会野々市会場開設事業
10. 日本スポーツマスターズ石川大会野々市会場

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4501	事務事業名	スポーツ推進審議会及びスポーツ推進員に関する事務事業				所管	部	教育文化部
							課	スポーツ振興課	
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興				区分	内部管理事務 ソフト事業 単独事業		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進							
	行政改革 推進項目	00 該当なし					事業の開始・終了年度		
							事業開始	**	年度
						終了予定	**	年度	
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	スポーツ振興審議会(スポーツ振興法第18条第1項により設置)(スポーツ基本法第30条)、体育指導委員(スポーツ振興法第19条第1項により委嘱)(スポーツ基本法第31条第1項)						
事業の対象	誰が 誰に	市 スポーツ振興審議会委員 体育指導委員	事業の目的	・審議会委員による提言、指導を市のスポーツ振興に生かす。 ・体育指導委員の協力により、スポーツ事業の普及と振興を図る。					
事業の内容	・スポーツ振興審議会を開催し、市のスポーツ事業に対するご意見、ご指導のもと市のスポーツ事業推進を図る。 ・体育指導委員連絡協議会の協力により、市のスポーツ事業の円滑な運営、スポーツ活動の推進を図る。		平成23年度 活動内容	・スポーツ振興審議会の開催。 ・体育指導委員の定例会の開催。 ニュースポーツ体験会の開催(毎月) 各種大会等に協力(老人会、社協、町内会) 10回 北陸地区体育指導委員研修会等の研修会への参加 7回					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H22	H23	H24見込		
	成果指標								
事業の コスト	事業費	区分	H22	H23	H24予算				
		国庫支出金 (千円)							
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)							
		一般財源 (千円)	618	1,626	637				
事業費計 (A) (千円)	618	1,626	637						

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	・審議会の開催。 ・スポーツ推進委員協議会の定例会の開催。 ・スポーツ推進委員の資質向上のための研修会の派遣。	・審議会の開催。 ・審議会委員の選考。 ・スポーツ推進委員協議会の定例会の開催。 ・スポーツ推進委員の資質向上のための研修会への派遣。	・審議会の開催。 ・スポーツ推進委員協議会の定例会の開催。 ・スポーツ推進委員の資質向上のための研修会等への派遣。	

C 自己評価

自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	スポーツ推進審議会の提言等を、スポーツ事業の推進に積極的に積極的に活かすよう努める。スポーツ推進委員の方々には、積極的に研修会等に参加いただき、他の市町での先進的事例等の取り組みなどを研修し、成果を当市における生涯スポーツ事業の推進に反映している。
	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	スポーツ推進審議会の意見等を、スポーツ事業の推進に活かすよう具現化に努める。また、スポーツ推進委員の研修成果を地区行事や各種大会等事業に大いに生かしていく。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4502	事務事業名	保健体育施設管理事業				所管	部 課	教育文化部 スポーツ振興課
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興					区分	自治事務 ハード・ソフト事業 単独事業	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進							
	行政改革 推進項目	28 公共工事のコスト縮減					事業の開始・終了年度		
							事業開始	**	年度
							終了予定	**	年度
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	スポーツ振興法第3条第1項、第12条 (スポーツ基本法第12条第1項)					
事業の対象	誰が 誰に	市 一般市民	事業の目的	市の管理するスポーツ施設を安全快適なものとして、 保全管理の徹底と効率的な活用に努めるものである。					
事業の内容	・公共施設管理事業団への委託及び補助事業。 ・市内スポーツ施設の維持・管理及び改修等事業。		平成23年度 活動内容	・公共施設管理事業団への施設管理委託及び補助事業・布水中学校夜間照明改修工事・武道館西側外壁等改修工事・市民体育館・スポーツセンター大体育室床補修・改修工事・スポーツランド幼児用プール改修工事・市民野球場グラウンド整備工事等・ランニングマシン購入					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	H22	H23	H24見込	
	成果指標	施設の利用人数		人	350,000	291,879	257,898	300,000	
事業のコスト	事業内訳	区分		H22	H23	H24予算			
		国庫支出金 (千円)	36,396			1,583			
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)			6,400				
		その他 (千円)	14,586		14,606	14,500			
		一般財源 (千円)	127,645		121,731	152,019			
	事業費計 (A) (千円)	178,627		142,737	168,102				

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	↗	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	公共施設管理事業団委託・補助事業 市民野球場スコアボード改修工事、市民野球場フェンス壁面塗装改修工事、グラウンド整備工事、相撲場改修工事	公共施設管理事業団委託・補助事業 市民体育館耐震補強工事	公共施設管理事業団委託・補助事業 健康広場グラウンド整備工事	

C 自己評価

自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	体育施設の適正な運営や安全な維持管理に努め、利用者に対し快適に提供することが出来た。
	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	施設の管理委託を引き続き公共施設管理事業団に委託し、利用者の快適な利用に配慮し、施設の適正で安全な維持管理に努めるために、年次的な整備計画のもと、計画的な改修を進める。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4503	事務事業名	ニュースポーツ普及事業				所管	部	教育文化部
						課		スポーツ振興課	
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興					区分	内部管理事務	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進						ハード・ソフト事業 単独事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし					事業の開始・終了年度		
							事業開始	平成21	年度
							終了予定	**	年度
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	スポーツ振興法第7条第1項 (スポーツ基本法第22条第1項)						
事業の対象	誰が 誰に 野々市市教育委員会 市内在住もしくは市内勤務・通学の中学生以上の人	事業の目的	ニュースポーツに親しむことによって、運動不足の解消と健康増進を図るとともに、市民のコミュニケーションを深めることを目的とする。						
事業の内容	市スポーツ推進委員が中心となって普及しているトリプルソフトバレーの大会。 4～5人1チームで、各チーム予選3試合を行い、上位チームで順位決定戦を行う。	平成23年度 活動内容	平成24年3月11日(日)に野々市市誕生記念 第3回トリプルソフトバレー大会を開催した。						
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H22	H23	H24見込		
	成果指標	トリプルソフトバレー大会	人	160	112	116	135		
事業の コスト	事業 内 訳	区分	H22		H23		H24予算		
		国庫支出金 (千円)							
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)						20	
		一般財源 (千円)	90		100			50	
事業費計 (A) (千円)	90		100			70			

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	↗	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	引き続きトリプルソフトバレー大会を実施する。 トリプルソフトバレーに変わる新たな種目の検討に入る。	新たな種目で大会を開催する。	新たな種目の普及に努める。

C 自己評価

自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	現在推進しているトリプルソフトバレーは、概ね5年間を普及浸透期間としての第3回目の大会であり、地区公民館事業でも取り入れられる中、徐々にではあるが、市民へ浸透してきていると思われるので、残る2年間で更に普及したい。
	B			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	今後、子どもから大人まで、幅広く参加していただける種目や内容の研究を行い、スポーツ人口の拡大に向けより一層のスポーツ事業の推進を行っていく。 事業の実施に当たっては、関係団体と連携を行い、市民が参加しやすい機会の提供に努めたい。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4504	事務事業名	広報活動				所管	部 課	教育文化部 スポーツ振興課
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興					区分	内部管理事務	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進						ソフト事業 単独事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし					事業の開始・終了年度		
							事業開始	**	年度
							終了予定	**	年度
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令					
事業の対象	誰が 誰に	野々市市 一般市民	事業の目的		市民に対し認定クラブ及び体育協会加盟団体、スポーツ少年団の紹介、体育施設の利用料金の案内等。				
事業の内容	「スポーツガイドののいち」の発行。		平成23年度 活動内容		スポーツガイドののいちの作成。				
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	H22	H23	H24見込	
	成果指標	スポーツガイドののいちの作成打合せ		回	3	3	3	3	
		スポーツガイドののいちの作成枚数		枚	1,000	1,100	1,000	1,000	
事業のコスト	区分		H22		H23		H24予算		
	事業内訳	国庫支出金	(千円)						
		県支出金	(千円)						
		地方債	(千円)						
		その他	(千円)						
		一般財源	(千円)	60	60	60	60	60	
	事業費計 (A) (千円)		60	60	60	60	60		

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	スポーツガイドののいちの作成。 FMエヌ・ワンを大いに活用し、発信していきたい。	スポーツガイドののいちの作成。 FMエヌ・ワンを大いに活用し、発信していきたい。	スポーツガイドののいちの作成。 FMエヌ・ワンを大いに活用し、発信していきたい。

C 自己評価

自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	多くの市民の方に対して、冊子、チラシ、報道媒体(FMエヌ・ワン)を利用し、周知に努めている。
	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	「スポーツガイドののいち」は市内のスポーツクラブ、体育協会、スポーツ少年団等の団体活動の紹介や体育施設の利用方法と利用料金について記載しているもので、今後は多くの市民の方が手に取ってわかりやすく、スポーツしたくなるガイドブックとなるよう工夫を行いたい。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4505	事務事業名	体育施設開放事業				所管	部	教育文化部
							課	スポーツ振興課	
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興						区分	内部管理事務
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進							ソフト事業
	行政改革 推進項目	00 該当なし						事業の開始・終了年度	
								事業開始	** 年度
								終了予定	** 年度
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	スポーツ振興法第13条(スポーツ基本法第13条第1項) 野々市市立学校の施設の開放に関する規則 野々市市立学校施設の開放規定						
事業の対象	誰が 野々市市 誰に 市認定クラブ会員及び市スポーツ少年団、市体育協会加盟団体	事業の目的	学校体育施設を学校教育に支障のない範囲で開放し 市民のスポーツ活動の振興を図る。						
事業の内容	学校開放運営委員会を設け、市内7校の教員及び学校利用団体代表者による開放運営委員会議を開催し、小・中学校の屋内体育館及び屋外運動場(体育館6、運動場6)の開放を行っている。	平成23年度 活動内容	学校体育施設開放運営委員会(17名) 学校体育施設開放指導員打合せ(32名) (施設利用団体) 体育協会 28団体、スポーツ少年団 16団体、スポーツ連盟 3団体、一般スポーツクラブ 37団体、高齢者スポーツクラブ 2団体 社会体育施設利用者数 257,898名						
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H22	H23	H24見込		
	成果指標	体育施設利用者	人	88,000	82,236	79,847	80,000		
		学校開放件数	件	3,000	2,773	2,933	3,000		
事業の コスト	事業費 財源内訳	区分	H22		H23		H24予算		
		国庫支出金 (千円)							
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)							
		一般財源 (千円)	398		391		1,116		
		事業費計 (A) (千円)	398		391		1,116		

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	開放指導委員の指導のもと学校活動に支障のない範囲で有効利用に努める。 スポーツ少年団 16団体 平日の16:00~19:00、認定クラブ 39団体 平日夜間19:00~21:30 体育施設利用者数 81,000名 学校開放件数 3,100件	開放指導委員の指導のもと学校活動に支障のない範囲で有効利用に努める。 スポーツ少年団 16団体 平日の16:00~19:00、認定クラブ 39団体 平日夜間19:00~21:30 体育施設利用者数 82,000名 学校開放件数 3,200件	開放指導委員の指導のもと学校活動に支障のない範囲で有効利用に努める。 スポーツ少年団 16団体 平日の16:00~19:00、認定クラブ 39団体 平日夜間19:00~21:30 体育施設利用者数 83,000名 学校開放件数 3,300件

C 自己評価

自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	多くの市民が利用しており、学校活動に支障のない範囲において、適切に施設開放が運用されている。
	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	市民の健康増進及び競技力の向上のため、利用ニーズが高まってきており、より多くの市民が施設を利用できるよう努めたい。施設の利用推進に引き続き務めていく。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4506	事務事業名	指導者研修会・養成講習会				所管	部 課	教育文化部 スポーツ振興課
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4 文化・スポーツ活動の充実 2 スポーツ団体の育成						区分	自治事務
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進							ソフト事業 単独事業
	行政改革 推進項目	00 該当なし						事業の開始・終了年度	
								事業開始	** 年度
								終了予定	** 年度
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	スポーツ振興法第11条(スポーツ基本法第11条) スポーツ振興法第16条(スポーツ基本法第14条)					
事業の対象	誰が 誰に	市 市スポーツ推進委員、市スポーツクラブ員、市スポーツ少年団指導者・保護者、市体育協会員、一	事業の目的	指導者を育成し、その指導者を中心として広く市民に安全で楽しくスポーツに親しむ機会を提供する。					
事業の内容	・市スポーツ推進委員の各種研修会への派遣 ・スポーツ傷病の予防と応急手当講習会(救急法・テーピング実技)		平成23年度 活動内容	・全国スポーツ推進委員研究協議会・北陸地区体育指導委員研修会・石川県体育指導委員研修会への派遣 ・市体育指導委員研修会の実施 ・スポーツ傷病の予防と応急手当講習会(救急法・テーピング実技) ・おもしろゼミナール(スポーツ関係者による講演会)					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	H22	H23	H24見込	
	成果指標	市スポーツ推進委員の研修会参加人数		人	70	17	50	55	
		スポーツ傷病の予防と応急手当講習会参加人数		人	54	44	45	48	
事業のコスト	事業内訳 財源内訳	区分		H22		H23		H24予算	
		国庫支出金 (千円)							
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)							
		一般財源 (千円)		250		544		556	
事業費計 (A) (千円)		250		544		556			

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	引き続き研修会等を通じて指導者の育成に努め、市民への実技指導に反映させる。	引き続き研修会等を通じて指導者の育成に努め、市民への実技指導に反映させる。	引き続き研修会等を通じて指導者の育成に努め、市民への実技指導に反映させる。

C 自己評価

自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	スポーツ活動を安全・快適に行う上で必要な知識をスポーツ関係者に身に付けていただくために講習会を実施し、スポーツ関係団体や市民の受講を促している。 また、スポーツ推進委員の資質向上のために各種研修会に派遣するとともに、自主研修を行い、市民を対象とした行事等に活かしていく。
	B			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	講習会・研修会の内容について、参加者の意見を取り入れながら今後の活動に反映していきたい。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4507	事務事業名	スポーツ団体育成事業				所管	部	教育文化部
							課	スポーツ振興課	
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4 文化・スポーツ活動の充実 2 スポーツ団体の育成					区分	内部管理事務	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進						ソフト事業 単独事業	
	行政改革 推進項目	08 各種団体の自主的運営の促進					事業の開始・終了年度		
							事業開始	**	年度
							終了予定	**	年度
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	スポーツ振興法第7条、第22条 (スポーツ基本法第22条)						
事業の対象	誰が 誰に 市 一般市民 に 体育協会並びにスポーツ少年団等	事業の目的	市民の健康増進とスポーツ事業の推進を図る。						
事業の内容	・各種国際大会等に参加選手への激励費の支給 ・小学生相撲大会、さわやかスポーツフェスティバル、 野々市じよんからの里マラソン大会各実行委員会への 委託事業 ・体育協会、スポーツ少年団等への補助金	平成23年度 活動内容	・国際大会、国体等へ参加選手の激励費支給 62件。 ・小学生相撲大会、さわやかスポーツフェスティバル各実行委員会 委託事業。 ・県体派遣費 ・体育協会、スポーツ少年団、競技強化委員会、ふるさと駅 伝、元気カップウォーク実行委員会等補助金交付。						
事業の 指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H22	H23	H24見込		
	成果指標	野々市じよんからの里マラソン大会の参加者	人	1,600	1,119	1,347	1,600		
事業の コスト	事業 内 財 源 内 訳	区分	H22		H23		H24予算		
		国庫支出金 (千円)							
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)							
		一般財源 (千円)	13,630		14,700		14,565		
事業費計 (A) (千円)	13,630		14,700		14,565				

B 実施計画

年度 計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	↗	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	・国際大会、国体等に参加出場する選手に激励費を支給する。 ・小学校相撲大会、さわやかスポーツフェスティバル、マラソン大会等実行委員会委託事業。 ・団体事務局の事務所などについて協議を行う。	・国際大会、国体等に参加出場する選手に激励費を支給する。 ・小学校相撲大会、さわやかスポーツフェスティバル、マラソン大会等実行委員会委託事業。 ・団体事務局の独立。	・国際大会、国体等に参加出場する選手に激励費を支給する。 ・小学校相撲大会、さわやかスポーツフェスティバル、マラソン大会等実行委員会委託事業。 ・団体との協働の推進。

C 自己評価

自己 評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	国際大会、国体等の大会に出場する選手に激励費を支給を行っている。各大会の実行委員会に対する、委託料についてはそれぞれの実行委員会に置いて、事業内容の精査見直し等を行いながら、適切に運営を行っていただいている。体育協会、スポーツ少年団の事務局の自主運営に向けての移行準備の年と捉え、事務的なサポート支援を進めている。
	B			
改善 点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	スポーツ団体の活動支援を行うとともに、スポーツ人口の拡大、優秀な選手の発掘に努めるためにも団体事務局の自主運営に向けての取り組みに対して支援していく。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4508	事務事業名	生涯スポーツ活動推進事業				所管	部 課	教育文化部 スポーツ振興課
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興					区分	内部管理事務 ソフト事業 単独事業	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進							
	行政改革 推進項目	00 該当なし					事業の開始・終了年度		
		事業開始		**		年度			
		終了予定		**		年度			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	スポーツ振興法第7条(スポーツ基本法第22条)					
事業の対象	誰が 誰に	市 一般市民	事業の目的	市民各層のニーズを勘案したスポーツ教室を開催することにより、健康を増進し体力向上を図るとともにスポーツ人口の拡大を図り活力あふれる地域づくりを目指す。					
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・エアロビック教室の開催。 ・高齢者健康クラブの活動補助。 ・体力運動能力調査の実施。 ・ニュースポーツ体験会の実施 等。 		平成23年度 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・一般・少年少女・中高齢者対象の春、秋、冬のスポーツ教室 各期6回コースの開催。 ・健康クラブ活動補助 ・体力テスト(一般・高齢者) ・エアロビック教室 6回コース ・ニュースポーツ体験会 					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H22	H23	H24見込		
	成果指標								
事業のコスト	事業内訳 財源内訳	区分	H22		H23		H24予算		
		国庫支出金 (千円)							
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)	74		67				
		一般財源 (千円)	558		443		440		
事業費計 (A) (千円)	632		510		440				

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	↘	→	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	昨年度公共施設管理事業団に移行したスポーツ教室を、引き続き委託する。高齢者健康クラブ活動補助の実施。体力テスト、ニュースポーツ体験会の実施。	公共施設管理事業団に移行したスポーツ教室を、引き続き委託する。高齢者健康クラブ活動補助の実施。体力テスト、ニュースポーツ体験会の実施。	今年度体育施設管理事業団に移行したスポーツ教室を、引き続き委託する。高齢者健康クラブ活動補助の実施。体力テスト、ニュースポーツ体験会の実施。	

C 自己評価

自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	春季、秋季、冬季と各期に分けてフレッシュヨガ等の各教室・エンジョイエアロの教室もそれぞれ90名あまりの参加者があり、市民の皆様健康増進の機会として活用いただいている。高齢者クラブへの支援事業についても、生涯スポーツの紹介、健康維持の機会として捉え支援していく。公共施設管理事業団の公益法人化の移行に並行し、スポーツ教室等の事業主体を弾力的に移行していくため。
	改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	これまで市で直接を行っていたスポーツ教室を、公共施設管理事業団に委託することにより事業の弾力的運用に方向転換を行う。	

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4509	事務事業名	石川県民体育大会野々市会場開設事業			所管	部	教育文化部	
						課	スポーツ振興課		
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4 文化・スポーツ活動の充実 2 スポーツ団体の育成				区分	内部管理事務		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進					ソフト事業 単独事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度			
						事業開始	平成23	年度	
						終了予定	平成23	年度	
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	スポーツ振興法第7条、第22条 (スポーツ基本法第22条) 県民体育大会実施要綱						
事業の対象	誰が 誰に	事業の目的	「広く県民のスポーツを振興し、スポーツ精神を高揚して健全明朗な県民性の育成を図る。」という趣旨に基づき、大会を成功裏に実施することを目的とする。						
事業の内容	第63回石川県民体育大会野々市会場に係る事業 軟式野球 市民野球場、ハレーボール壮年 スポーツセンター・市民体育館、ソフトボール一般女子 健康広場、ソフトボール壮年女子 野々市中学グラウンド、ハンドボール 金沢工業大学体育館で開催		平成23年度 活動内容	第63回石川県民体育大会 夏季大会 平成23年8月6日(土)、7日(日) 白山市(主会場)、野々市市、金沢市、加賀市、小松市、能美市、内灘町、志賀町で開催 46競技					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H22	H23	H24見込		
	成果指標								
事業の コスト	事業 内 訳	区分	H22		H23		H24予算		
		国庫支出金 (千円)							
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)							
		一般財源 (千円)			1,884				
		事業費計 (A) (千円)	0	1,884	0				

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開			
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)			

C 自己評価

自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	本事業は、第63回石川県民体育大会の開催地として白山市と野々市市に割り当てられて共同開催した年度であり、平成23年度単年度事業であり 事業完了。 次年度は、志賀町を中心として開催されるので、野々市市選手団として第64回石川県民体育大会に参加する。
	F			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	今後も他市町で開催される石川県民体育大会に、市の代表として活躍される競技団体の支援と、多くの競技に参加いただくよう協力、支援に努める。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4510	事務事業名	日本スポーツマスターズ石川大会野々市会場			所管	部 課	教育文化部 スポーツ振興課	
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興					区分	内部管理事務 ソフト事業 単独事業	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進							
	行政改革 推進項目	00 該当なし					事業の開始・終了年度		
		事業開始		平成23 年度		終了予定			平成23 年度
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興計画	根拠法令	スポーツ振興法第7条、第22条 (スポーツ基本法第22条)					
	事業の対象	誰が 誰に	市 野々市市において円滑に運営されることを 目的とする。	事業の目的	国内の競技志向の高いシニア世代を対象にしたス ポーツの祭典である「日本スポーツマスターズ2011石 川大会」が野々市市において円滑に運営されることを 目的とする。				
事業の内容	日本スポーツマスターズ2011石川大会 野々市会場 平成23年9月16日開会式 9月17日(土)、18日(日) 全13競技、野々市市ではバスケットボール、バレー ボール競技会場として開催された。		平成23年度 活動内容	9月17日(土)、9月18日(日) 野々市市民体育館 バレーボール競技会場 野々市市スポーツセンター バスケットボール競技会 場 両会場におもてなしコーナー、地元の特産物の物販 ブースなどを設け、遠方より参加の選手をもてなす。					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H22	H23	H24見込		
	成果指標								
事業の コスト	事業 内訳	区分	H22		H23		H24予算		
		国庫支出金 (千円)							
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)							
		一般財源 (千円)				1,014			
事業費計 (A) (千円)		0		1,014		0			

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開			
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)			

C 自己評価

自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	本事業は、石川国体が開催されてから20年を迎えたことを記念して「日本スポーツマスターズ2011石川大会」として、県内6市7町30会場で13競技が開催されたものであり、単年度で終了したものである。
	F			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	事業終了		

・(5-2) 学識経験者からの意見

平成23年8月に施行されたスポーツ基本法の基本理念では、スポーツは、地域住民が生涯にわたりあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的かつ自律的に自分に合ったものを行うことができるように推進されなければならないとしており、特に青少年のスポーツに関しては、学校やスポーツ団体、家庭及び地域と連携が重要であるとしています。

スポーツ推進委員に関しては、これまでの実技指導に加えて、地域の人々と行政や団体をつなぐコーディネーターとしての役割が期待されています。

地域の人々の意見を広く吸い上げ、行政に対して住民の意向を伝え、共に住民のニーズに応じた事業を実施していただきたいと思います。

また、市内のスポーツ施設を利用されている体育協会、スポーツ少年団、認定スポーツクラブの方々には、競技力向上、健康増進のために大いに活動しながら、新規加入者の増加にも努めていただき、市勢の活性化に寄与していただきたいと思っております。

市については、様々なスポーツ種目が存在する今、施設の利用方法や利用時間等についても今一度見直し、多くの方がスポーツを楽しむことができる環境の整備により一層努めていただきたいと思います。

近年、マラソンに挑戦する人が増えており、「じょんからの里マラソン大会」の参加者は増加していますし、「さわやかスポーツフェスティバル」は広くスポーツレクリエーションに親しむことができる催しとして定着してきているようですが、市民の健康と体力の増進のためには、「競技種目」はもとより、「さわやかウオーク」や「体力テスト」スポーツを親しむ「体験種目」などへの参加者の増員の工夫を要望します。この他に、今年度からはスポーツ教室も委託事業となったようですが、委託先では、弾力的な運用により、更に活性化していくことを期待します。

少子高齢化が進む中、健康寿命を延ばすために、子供から高齢者までが各年代に合ったスポーツを実施できるよう、生涯スポーツの推進に努めていただきたいです。

・(5-3) 今後の方針

① スポーツ振興体制の確立

スポーツ推進審議会からのスポーツに関する提言・指導を受け、地域に根付いたスポーツの振興を図るとともに、指導者の資質向上に努めます。

② スポーツ活動の普及推進

生涯スポーツの推進とスポーツ施設の効果的な活用を図り、生涯にわたりあらゆる機会において、だれもが参加できるスポーツ活動の推進及び競技スポーツの充実・強化に努めます。各種スポーツ事業の開催にあたっては、より一層の情報発信の工夫を行い参加者の拡大に努めます。

③ スポーツ団体の育成によるスポーツ活動の推進

体育協会、スポーツ少年団活動の自主運営に向けた取り組みを推進します。

スポーツ関係団体、民間のスポーツクラブやスポーツ推進委員協議会との連携を図り、市民の自主的な生涯スポーツ活動への参加と参画に努めます。

④ スポーツ施設の設備の充実

既存施設の計画的な整備、充実を図ります。

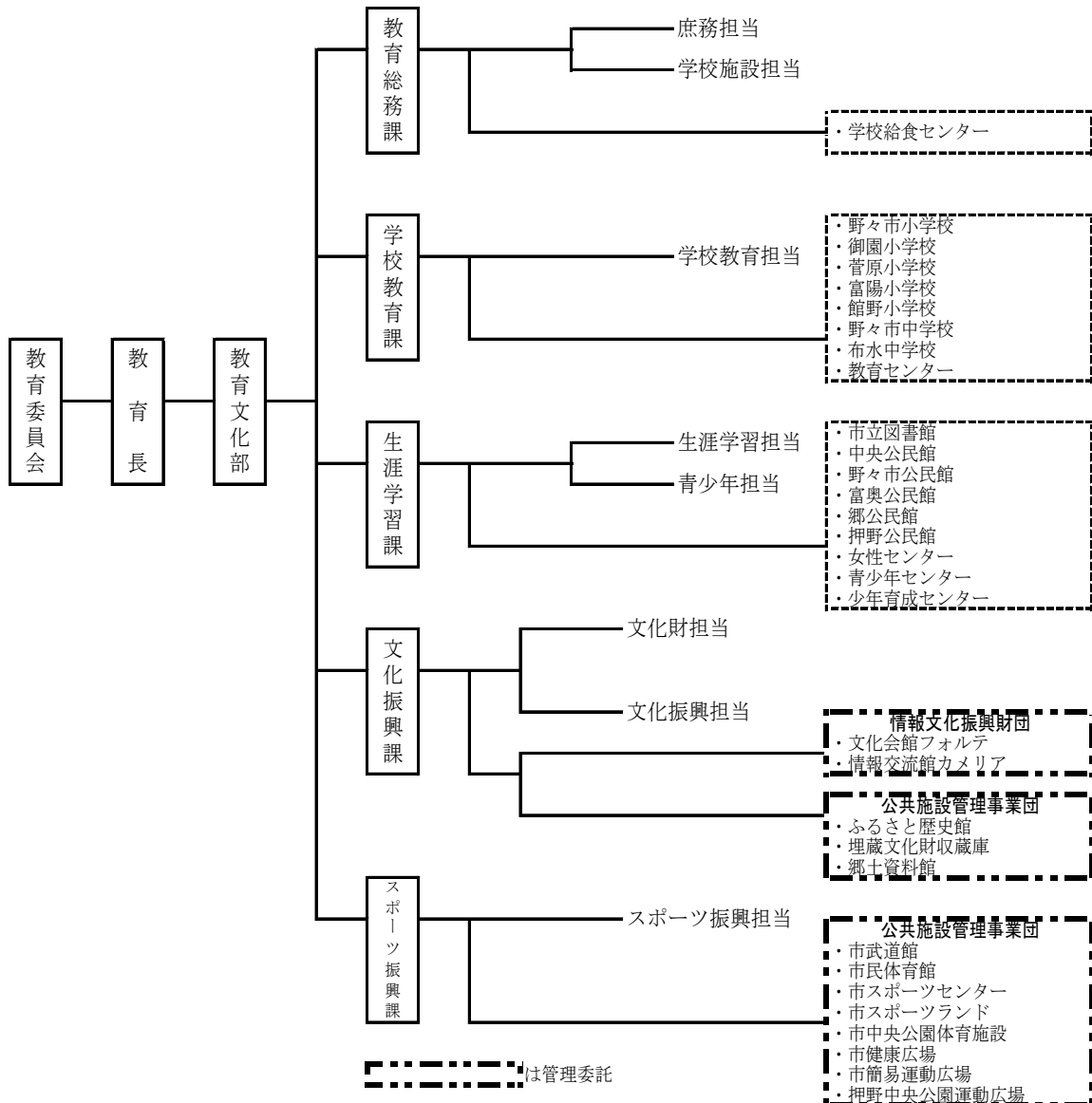
4 参考資料

野々市市教育委員会組織（平成 24 年 3 月 31 日現在）

<教育委員会>

委員長	北本 正	委員長職務代理者	徳田 寿秋
委員	荻野 直子	委員	中野 恵美子
委員	松野 勝夫	委員（教育長）	村上 維喜

<教育委員会事務局組織>



お問い合わせ

〒921-8510

石川県野々市市三納一丁目1番地

野々市市教育委員会

TEL（代表）：227-6111

F A X ：227-6258

E メール： kyouiku_soumu@city.nonoichi.lg.jp